GM1700 用ハイダンプスイーパ

取扱説明書

「必読」ご使用前に必ず本書をお読みください。

Serial No.10001-

Ver.1.0

GM1700

ごあいさつ

このたびは、バロネス製品をお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、本機の正しい取扱方法と調整方法、また点検方法について説明しています。
機械をご使用になる前に必ず本書をお読みいただき、内容を十分にご理解の上、ご使用ください。
いつまでも優れた性能を発揮させ、安全な作業をしていただきますようお願いいたします。

はじめに

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、適切な方法でご使用ください。

この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

この説明書に無い保守、整備などは決して行わないでください。

エンジン・バッテリ等の取扱説明書も必ずお読みください。

整備を行う場合は専門知識のある要員によって作業を行ってください。

整備について、また純正部品についてなど、分からないことはお気軽に弊社または、弊社代理店におたずねください。

お問合せの際には、必ず製品の型式と製造番号をお知らせください。

本機を貸与または、譲渡する場合は本機と一緒に取扱説明書をお渡しください。

株式会社　共栄社

> **⚠ 注意**
>
> 本書記載事項は、改良のため予告なしに変更する場合があります。
> 部品交換を行う場合は、必ず「BARONESS 純正部品」または「弊社指定部品」を使用してください。
> 純正部品以外の部品を使用して生じた不具合については責任を負いかねます。

危険警告記号の説明

本書では安全に関する重要な取扱い上の注意事項について、危険警告記号を使用し、次のように表示しています。

696cq5-001	危険警告記号
この記号は「危険」「警告」「注意」に関する項目を意味します。 いずれも安全確保のための重要事項が記載してありますので、注意してお読みいただき、十分理解してから作業を行ってください。 これらを遵守されない場合、事故につながる恐れがあります。	

⚠ 危険

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。

⚠ 警告

その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。

⚠ 注意

その警告に従わなかった場合、ケガを負う恐れのある、または物的損傷の発生が予測されるものを示しています。

重要

製品の構造などの注意点を示しています。

はじめに

使用目的

本機は、ゴルフ場の芝草刈り作業を目的とした機械です。
この目的以外で使用したり、機械の改造をしないでください。
本機をその他の目的で使用したり、改造すると大変危険であり、機械を損傷する原因にもなります。
また、本機は特殊自動車の型式認定を取得していませんので、一般道路は走行できません。

目次

安全

安全

誤使用や整備不良は負傷や死亡事故につながります。

危険

本機は、安全な取扱いができるように設計されており、工場出荷時には十分な試運転、検査を重ねた上で出荷しております。
事故防止のための安全装置は装備しておりますが、これらは適切な操作、取扱い、及び日常の管理方法が大きく影響します。
機械を適切に使用または管理しない場合、人身事故につながる恐れがあります。
以下の安全指示に従い、安全な作業を行ってください。

安全上の注意事項

以下の注意事項は、CEN規格EN836:1997, 国際規格ISO5395:1990およびANSI規格B71.4 - 2004より指示されているものを含んでいます。

トレーニング

1. 取扱説明書や関連する機器の説明書をよくお読みください。
   各部の操作方法や警告ラベル、本機の正しい使用方法に十分慣れておきましょう。
2. オペレータ、整備士が日本語を読めない場合には、オーナーの責任において、このマニュアルの内容を十分に説明してください。
3. すべてのオペレータ、整備士に適切なトレーニングを行ってください。
   トレーニングはオーナーの責任です。
   特に以下の点についての十分な指導が必要です。
   〔1〕乗用機械を取扱うときは注意と集中が必要である。
   〔2〕斜面で機体が滑り始めるとブレーキで制御することは非常に難しくなる。
   斜面で制御不能となる主な原因：
   - タイヤのグリップ不足
   - 速度の出しすぎ
   - 不適切なブレーキ操作
   - 不適当な機種選定
   - 地表条件（凸凹、凍結、ぬかるみ）特に傾斜角度を正しく把握していない場合
   - 不適切な連結と重量分配
4. 子供（18才未満）や正しい運転知識のない方には機械を操作させないでください。
   地域によっては機械のオペレータに年齢制限を設けていることがありますのでご注意ください。
5. オーナーやオペレータは自分自身や他の安全に責任があり、オーナーやオペレータの注意によって事故を防止することができます。
6. 人身事故や器物損壊などについてはオーナー、オペレータ、整備士が責任を負うものであることを忘れないでください。

運転の前に

1. 作業場所を良く観察し、安全かつ適切に作業するには、どのようなアクセサリやアタッチメントが必要かを判断してください。
   メーカーが認めた以外のアクセサリやアタッチメントを使用しないでください。
2. 作業には安全靴と長ズボン、ヘルメット、保護メガネ、および聴覚保護具（イヤーマフ）を着用してください。
   長い髪、だぶついた衣服、装飾品などは可動部に巻込まれる危険があります。
   また、裸足やサンダルで機械を運転しないでください。
3. 機械が使われる区域を点検し、小石、玩具、および針金のような、機械がはね飛ばす可能性のあるすべての物体を取除いてください。
4. 燃料の取扱いには十分注意してください。

警告

燃料は引火性が高いので、以下の注意を必ず守ってください。

〔1〕燃料は専用の容器に保管する。
〔2〕給油はエンジンを始動する前に行う。
エンジンの運転中やエンジンが熱い時に燃料タンクのフタを開けたり給油したりしない。
〔3〕給油は必ず屋外で行い、給油中は火気厳禁とする。
喫煙しない。
〔4〕燃料がこぼれたらエンジンを始動せずに、機械を別の場所に動かし、気化した燃料ガスが十分に拡散するまで引火の原因となるものを近づけない。
〔5〕燃料タンクや燃料容器のフタは確実に閉める。

5. 運転操作装置（ハンドル、ペダル、レバー等）、安全装置、防護カバーが正しく取付けられ、正しく機能しているか点検してください。
   これらが正しく機能しない時には作業を行わないでください。
6. ブレーキの効きが悪かったり、ハンドルに著しいガタがある場合は、必ず調整、修理してから使用してください。
7. マフラが破損したら必ず交換してください。

8. 使用前にナイフ、ナイフ取付ボルト、ナイフアッセンブリを目視で点検してください。
   バランスを狂わせないようにするために、損傷したナイフとボルトはセットで交換してください。
9. 複数のナイフを持つ機械では、1つのナイフを回転させると他も回転する場合がありますので注意してください。

運転操作

1. 有毒な一酸化炭素ガスが溜まる可能性のある閉め切った場所では、エンジンを作動しないでください。
2. 十分に明るい場所でのみ運転し、穴や、隠れた危険を避けるようにしてください。
3. エンジンを始動する前に作業部への駆動をすべて遮断し、走行シフトをニュートラルにして、駐車ブレーキを掛けてください。
   運転席に着座し、エンジンを始動してください。
   シートベルトがある場合は着用してください。
4. 「安全な斜面」はありません。
   芝生の斜面での作業には特に注意が必要です。
   転倒を防ぐために
   〔1〕斜面では急停止、急発進しない。
   〔2〕走行クラッチがある機械はクラッチをゆっくりつなぐようにしてください。
   また坂を下る場合は、走行ギヤを入れた状態にする。
   〔3〕斜面の走行や旋回は低速で行う。
   〔4〕凸凹や穴、隠れた障害物がないか常に注意する。
   〔5〕斜面を横切りながらの作業は、そのような作業のために設計された機械以外では絶対に行わない。
   〔6〕決められた角度以上の傾斜地または転倒やスリップの危険がある場所では、絶対に作業を行わない。
5. ナイフ駆動中には、絶対にモアユニットを上げないでください。
6. ガードが破損したり、正しく取付けられていない状態のままで運転しないでください。
   インターロック装置は絶対に取外さないでください。
   正しく調整した状態で使用してください。
7. 集草装置を使用しない限り、絶対に放出用防護カバーを上げたまま、または取外したり、改造して運転しないでください。
8. エンジンのガバナの設定を変えたり、エンジンの回転速度を上げすぎたりしないでください。
   エンジンを規定以上の速度で運転すると、人身事故を起こす危険が増大します。
9. 運転位置を離れる場合は次を厳守してください。
   〔1〕平らな場所に停止する。
   〔2〕作業部の動力を遮断し、作業部を下げる。
   〔3〕走行シフトをニュートラルにして、駐車ブレーキを掛ける。
   〔4〕エンジンを止め、キーを抜き取る。
10. 以下のような状況になった場合には、アタッチメントの駆動を停止し、エンジンを止め、キーを抜き取ってください。
   〔1〕燃料を補給するとき。
   〔2〕グラスキャッチャを取外すとき
   〔3〕刈高を調整するとき。
   ただし運転位置から遠隔操作で行える場合は除きます。
   〔4〕詰まりを取除くとき。
   〔5〕機械の点検、清掃、整備作業等をするとき。
   〔6〕機械に異物がぶつかったり、異常な振動を感じたとき。
   機械を再始動する前に機械の損傷を点検・修理してください。
11. 作業部や回転部に手足を近づけないでください。
12. バックするときは、下方と後方の安全に十分注意してください。
13. オペレータ以外の人を乗せないでください。
14. 周囲に人がいるとき、特に子供やペットがいるときは、絶対に作業を行わないでください。
15. 旋回するとき、管理道路やカート道、歩道を横断するときは減速し、周囲に十分注意してください。
16. 草地以外の場所では、刃の回転を停止してください。
17. 移動走行中や作業を休んでいるときは、作業機への駆動を止めてください。
18. アタッチメント等を使用する場合、排出方向等に気をつけ、人に向けないようにしてください。
   また作業中は機械に人を近づけないでください。
19. アルコールや薬物を摂取した状態、また妊娠中は運転や整備をしないでください。

20. 本機をトラックやトレーラに積載する場合は、十分注意してください。
    積み込み、積み下ろしは平らな安全な場所で、トラックやトレーラの駐車ブレーキを掛け、エンジンを止め、輪止めをして行ってください。
    トラックやトレーラに積載して移動する時は、本機の駐車ブレーキを掛け、エンジンを止め、強度が十分あるロープ等で機械を固定してください。
    あゆみ板を使用する場合は、巾、長さ、強度が十分あり、スリップしないものを選んでください。
21. 本機を輸送する場合は、燃料コックは閉じてください。
22. 見通しの悪い曲がり角、植え込みや立ち木などの陰では安全に十分注意してください。
23. わき見運転、手放し運転はしないでください。
24. エンジン停止中はスロットルを「LOW」(かめマーク側)にしておいてください。
    燃料コックが付いている場合は、燃料コックを閉じてください。

保守と保管

1. 修理・調整・清掃作業の前には、平らな場所で機械を停止し、作業機を降ろし、駐車ブレーキを掛け、エンジンを停止し、キーを抜き取ってください。
   また、機械のすべての動きが完全に停止したことを確認し作業を行ってください。
2. 機械から離れる時には必ずモアユニットを降下させておいてください。
   ただしモアユニットを上昇位置に確実にロックしておくことができる場合はこの限りではありません。
3. 火災防止のため、エンジンやマフラ、バッテリ、燃料タンクの周囲、作業部の周囲、および駆動部に、余分なグリース、草や木の葉、埃などが溜まらないよう注意してください。
   オイルや燃料がこぼれた場合はふきとってください。
4. 閉めきった場所に本機を保管する場合は、エンジンが十分冷えていることを確認してください。
5. 本機にシートを掛けて保管する場合は、過熱部分が十分冷めていることを確認してから行ってください。
6. 炎や火花がある屋内では、タンクに燃料が入った状態で保管しないでください。
7. 機械の保管・搬送時には、燃料コックがついている機械は、燃料コックを閉じてください。
8. 炎の近くに燃料を保管しないでください。
9. 絶対に訓練を受けていない人に機械を整備させないでください。
10. 点検・整備はマフラやエンジンが冷めてから行ってください。
11. 調整、整備等に必要な工具類は適切な管理をし、目的に合った工具を正しく使用してください。
12. 機械をジャッキアップする場合は、ジャッキスタンドなどを使用し、確実に支えてください。
13. 部品を取外すときなど、スプリングや油圧などの圧力が一気に解放される場合がありますので、注意してください。
14. 油圧機器を取外す等、油圧系統の整備をする場合は、必ず減圧してから行ってください。
15. 油圧系統のラインコネクタは十分に締っているかを確認してください。
    油圧をかける前に油圧ラインの接続やホースの状態を確認してください。
16. 油圧回路のピンホール漏出やノズルの油漏れを確認する場合は、絶対に手ではなく、紙や段ボール等を使用して漏出箇所を探してください。
    高圧オイルは、皮膚を突き破ることがあり、人的事故をおこす恐れがありますので、十分注意してください。
    万一、油圧作動油が体内に入った場合には、この種の労働災害に経験のある施設で数時間以内に外科手術を受けないと壊疽を起こします。
17. 修理作業の前にはバッテリケーブルを取外してください。
    先にマイナスケーブルを取外してからプラスケーブルを取外してください。
    取付ける場合は、プラスケーブルから取付けてください。
18. 配線等が接触したり、被覆のはがれがないように注意してください。
19. ナイフの点検を行うとき時には、安全に十分注意してください。
    〔1〕必ず手袋を着用してください。
    〔2〕悪くなったナイフは必ず交換してください。
    〔3〕絶対に曲げ伸ばしや溶接で修理しないでください。
20. 複数のナイフを持つ機械では、1つのナイフを回転させると他も回転する場合がありますので注意してください。
21. 可動部に手足を近づけないでください。
    エンジンが作動したままで調整作業をしないでください。

22. バッテリの充電は、火花や火気のない換気の良い場所で行ってください。
    バッテリと充電器の接続や切り離しを行う場合は、充電器をコンセントから抜いておいてください。
    また、ゴム手袋や保護メガネ等を着用し、絶縁された工具を使用してください。
23. すべての部品が良好な状態にあるか点検を怠らないでください。
    消耗したり破損した部品やステッカーは安全のため早期に交換してください。
24. 常に機械全体の安全を心掛け、ナットやボルト、ねじ類が十分締まっているかを確認してください。
25. グラスキャッチャの摩耗や劣化をこまめに点検してください。
26. 燃料タンクの清掃が必要になった場合は、屋外で作業を行ってください。

廃棄

廃棄

廃棄処分

廃棄処分について

整備、修理等の作業で出た廃棄物については、地域の法律に従って適切に処分してください。
（例：廃油、不凍液、バッテリ、ゴム製品、配線等）

製品概要

製品概要

仕様

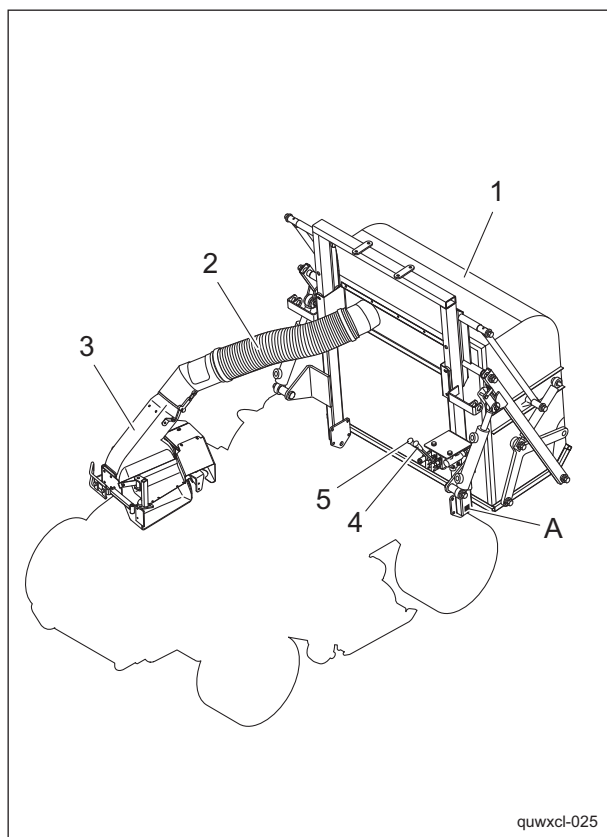
仕様表

型式		GM1700 用ハイダンプスイーパ
寸法	全長	[310 cm]
	全巾	[200 cm]
	全高	[183 cm]
質量		196 kg［1,058 kg］
ダンプ高さ		1,500 cm
バケット容量		650 L

※［ ］は、GM1700 装着時。

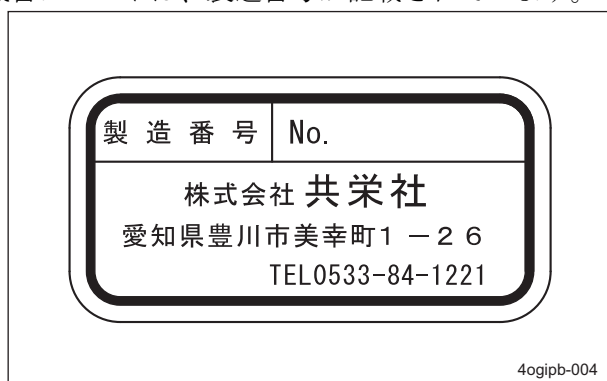
ハイダンプスイーパの特性

1. 刈込み作業と同時に集草作業が可能です。
2. 2t ダンプへの排出作業が可能です。
3. スタンダードデッキへの取付けが可能です。

各部の名称

各部の名称_001

1	バケット
2	ダクトホース
3	ブロア
4	バケット開閉レバー
5	バケット上下レバー
A	機番プレート

機番プレート

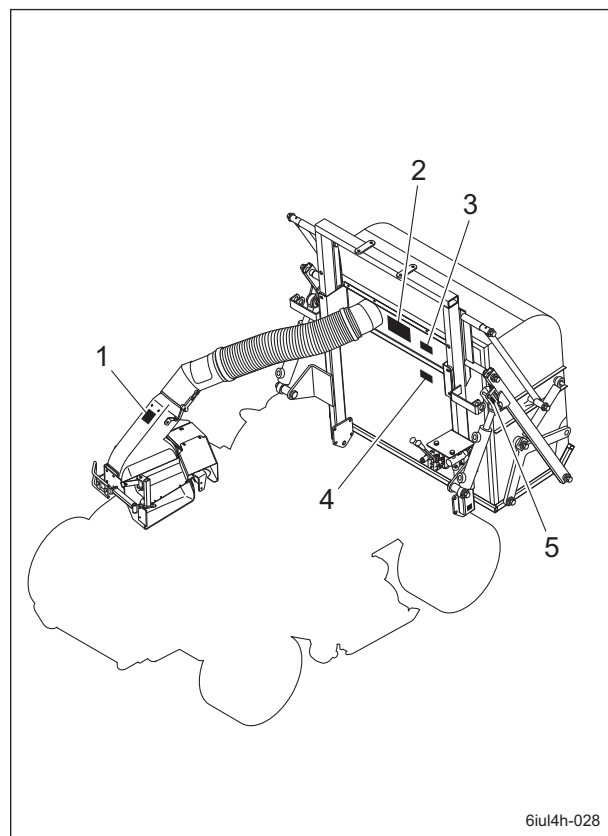
機番プレートは、製造番号が記載されています。

機番プレート_001

警告ラベルと指示ラベル

警告ラベルと指示ラベルについて

> **警告**
>
> 本機には、警告ラベルと指示ラベルが貼付けられています。
> ラベルはきれいに保ち、損傷や汚れ、剥がれがあった場合は、新しいものと交換してください。

交換するラベルの部品番号は､パーツカタログに記載されております。
購入販売店または弊社に注文してください。

警告ラベル・指示ラベル貼付位置

警告ラベル・指示ラベル貼付位置_001

製品概要

警告ラベル・指示ラベルの説明

1	qigqnx-062	K4205001670 飛散・回転物注意マーク
2	qigqnx-068	K4205001420 ハイダンプ警告マーク
3	qigqnx-069	K4205001270 急傾斜地作業警告ラベル
4	qigqnx-070	K4205001370 排出注意ラベル
5	qigqnx-071	K4205001180 ロック装置警告マーク

取扱説明

取扱いに関する注意

> 重要
>
> 本書は、作業機部に関する取扱いについて記載されています。
> 取扱いについては、本書及び、本体部の取扱説明書をご参照ください。

使用前の点検

機械の性能を引き出し、長くご使用いただくために、必ず使用前の点検をしてください。

カバー

カバーの点検

> ⚠ 注意
>
> 点検時に防護カバーを取外した場合は、必ず元の位置に確実に取付けてください。
> 防護カバーが取外されていると、異物が飛散してケガをする恐れがあります。

1. ロータリーカバー及び、防護カバー等に磨耗や劣化がないか確認してください。
2. ロータリーカバー及び、防護カバー等に破損がないか確認してください。
3. ロータリーカバー及び、防護カバー等に変形による可動部への干渉がないか確認してください。
4. 防護カバー等が所定の位置に取付けられているか確認してください。

ベルト

ベルトの点検

> ⚠ 注意
>
> ベルトの点検は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。

> ⚠ 注意
>
> 点検時にカバー等を取外した場合は、必ず元の位置に確実に取付けてください。
> カバー等が取外されていると、回転物やベルトに触れて、ケガをする恐れがあります。

1. ベルトの中央を指で押さえて、張り具合を確認してください。
2. 亀裂、損傷、異常摩耗がないか確認してください。

集草機

ブロアの点検

1. ブロアに磨耗や破損がないか確認してください。
2. アンダーカバーに磨耗や破損がないか確認してください。
3. ファンに曲がり、破損がないか確認してください。
4. インナープレートの磨耗や破損、変形による可動部への干渉がないか確認してください。

ダクトホースの点検

1. ダクトホースに劣化や破損がないか確認してください。
2. ダクトホースが外れていないか確認してください。

バケットの点検

1. バケット、バケットフタに破損がないか確認してください。
2. バケット窓に破損がないか確認してください。
3. バケットがスムーズに上昇・下降するか確認してください。
4. バケットフタがスムーズに開閉するか確認してください。

締付トルク

標準締付トルク

ボルト、ねじ類

重要

各部には、ボルト止めが多く使われております。
使用初期はボルト、ナット等の緩みの出る場合がありますので、必ず増締めを行ってください。

特別指示のないボルト、ナットは、適切な工具により適正な締付トルクで締付けてください。
締付が強すぎると「ねじ」は緩んだり、破損したりします。
締付強さは、ねじの種類、強度、ねじ面や座面の摩擦等で決めております。
一覧表は、亜鉛メッキまたはパーカー処理したボルトを対象としております。
めねじの強度が弱い場合は適用できません。
錆びていたり、砂等が付着している「ねじ」は、使用しないでください。
所定の締付トルクを与えても締付け不足になります。
ねじ面の摩擦が大きくなり、締付トルクのほとんどを摩擦損失し、締付ける力になりません。
「ねじ」が水や油で濡れている場合は、通常の締付トルクで締めないでください。
ねじが濡れるとトルク係数が小さくなり、締め過ぎになります。
締め過ぎると、ねじが伸びて緩んだり、破損することがあります。
一度、大きな負荷がかかったボルトは、使用しないでください。
インパクトレンチで締めるときは、熟練が必要です。
できるだけ安定した締付け作業ができるように練習してください。

呼び径	一般ボルト		
	強度区分 4.8		
	M 4 T 4.8 tib3yb-001		
	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	3 - 5	30.59 - 50.99	26.55 - 44.26
M6	7 - 9	71.38 - 91.77	61.96 - 79.66
M8	14 - 19	142.76 - 193.74	123.91 - 168.17
M10	29 - 38	295.71 - 387.49	256.68 - 336.34
M12	52 - 67	530.24 - 683.20	460.25 - 593.02
M14	70 - 94	713.79 - 958.52	619.57 - 831.99
M16	88 - 112	897.34 - 1142.06	778.89 - 991.31
M18	116 - 144	1,182.85 - 1,468.37	1,026.72 - 1,274.54
M20	147 - 183	1,498.96 - 1,866.05	1,301.10 - 1,619.73
M22	295	3,008.12	2,611.05
M24	370	3,772.89	3,274.87
M27	550	5,608.35	4,868.05
M30	740	7,545.78	6,549.74

呼び径	調質ボルト					
	強度区分 8.8			強度区分 10.9		
	8 / 8 T / 8.8 tib3yb-002			11 / 11T / 10.9 tib3yb-003		
	N-m	kgf-cm	lb-in	N-m	kgf-cm	lb-in
M5	5 - 7	50.99 - 71.38	44.26 - 61.96	7 - 10	71.38 - 101.97	61.96 - 88.51
M6	8 - 11	81.58 - 112.17	70.81 - 97.36	14 - 18	142.76 - 183.55	123.91 - 159.32
M8	23 - 29	234.53 - 295.71	203.57 - 256.68	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34
M10	45 - 57	458.87 - 581.23	398.30 - 504.51	58 - 76	591.43 - 774.97	513.36 - 672.68
M12	67 - 85	683.20 - 866.75	593.02 - 752.34	104 - 134	1,060.49 - 1,366.40	920.50 - 1186.03
M14	106 - 134	1,080.88 - 1,366.40	938.21 - 1,186.03	140 - 188	1,427.58 - 1,917.04	1,239.14 - 1,663.99
M16	152 - 188	1,549.94 - 1,917.04	1,345.35 - 1,663.99	210 - 260	2,141.37 - 2,651.22	1,858.71 - 2,301.26
M18	200 - 240	2,039.40 - 2,447.28	1,770.20 - 2,124.24	280 - 340	2,855.16 - 3,466.98	2,478.28 - 3,009.34
M20	245 - 295	2,498.27 - 3,008.12	2,168.50 - 2,611.05	370 - 450	3,772.89 - 4,588.65	3,274.87 - 3,982.95
M22	―	―	―	530	5,404.41	4,691.03
M24	―	―	―	670	6,831.99	5,930.17
M27	―	―	―	1,000	10,197.00	8,851.00
M30	―	―	―	1,340	14,628.78	11,860.34

参考：
「細目ねじ」についても、同じ数値とする。

重要締付トルク

機種別締付トルク

GM1700_グラスキャッチャ／ハイダンプスイーパ
次のボルト、ナットは下記のトルクで締付けてください。
ねじ緩み止め剤は、ネジロック中強度（スリ-ボンド1322　嫌気性強力封着剤）を塗布してください。

部位	コード番号	品名	締付トルク			ねじ緩み止め剤
			N-m	kgf-cm	lb-in	
ブロアプーリ	K0010080152	8 調質 11T ボルト 15	28 - 38	285.52 - 387.49	247.83 - 336.34	―

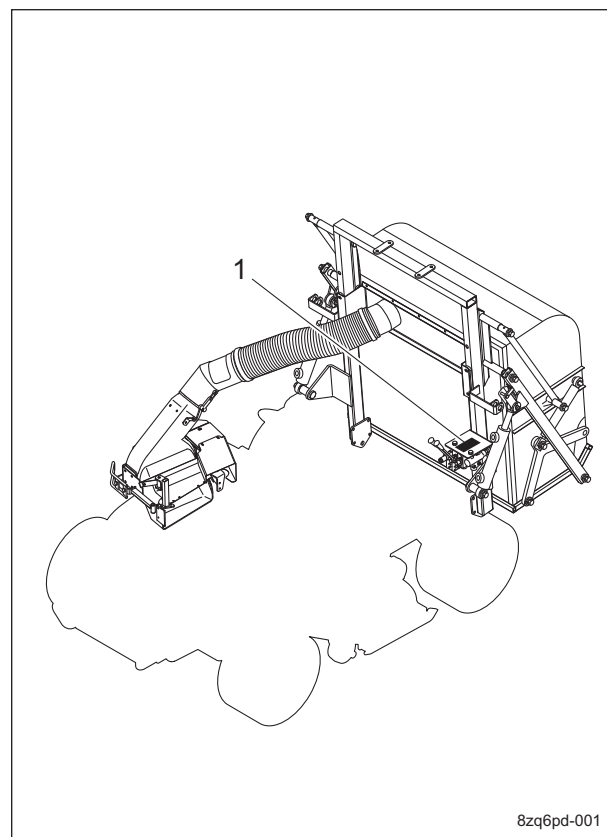
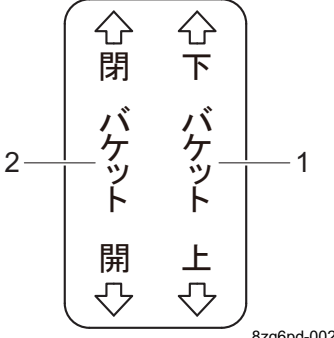
各部の操作方法

機械操作上の注意

> ⚠ 注意
>
> どのような場合にも、緊急停止ができるような速さで運転してください。

機械を離れるときの注意

> ⚠ 注意
>
> ブレーキの効きが悪いときは、車輪止めを使用し、固定してください。

操作ラベルの説明

操作ラベルの説明_001

1	切換レバーマーク

1	K4203000910 切換レバーマーク 1. バケットの上昇・下降を示しています。 2. バケットフタの開・閉を示しています。	

バケット上下レバー

▲警告

軟弱地、不整地や傾斜地では、絶対にバケットを上昇させないでください。
車体のバランスが崩れ、大変危険です。

▲警告

バケットを上昇させるときは、前後輪が直進状態になるように停車してください。
車体のバランスが崩れ、大変危険です。

▲警告

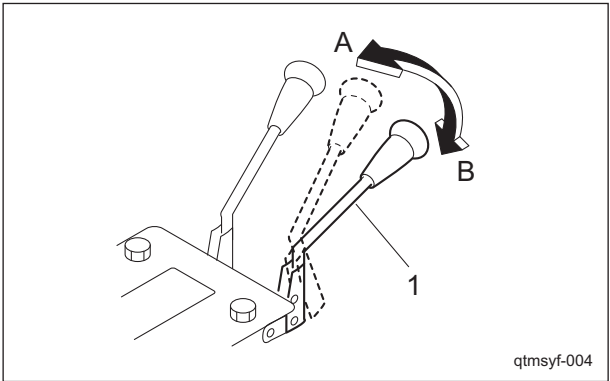
走行中は、絶対にバケットを上昇させないでください。
車体のバランスが崩れ、大変危険です。

▲警告

周囲に人がいるとき、障害物があるときは、絶対にバケットを上昇させないでください。
ケガをする恐れがあります。

▲警告

バケットを上昇させてメンテナンスする場合は、必ずシリンダロックを装着してください。

バケット上下レバーは、運転席の左側にあります。バケット上下レバーを「上昇」側に倒すとバケットが上昇し、「下降」側に倒すとバケットが下降します。

バケット上下レバー_001

1	バケット上下レバー
A	上昇
B	下降

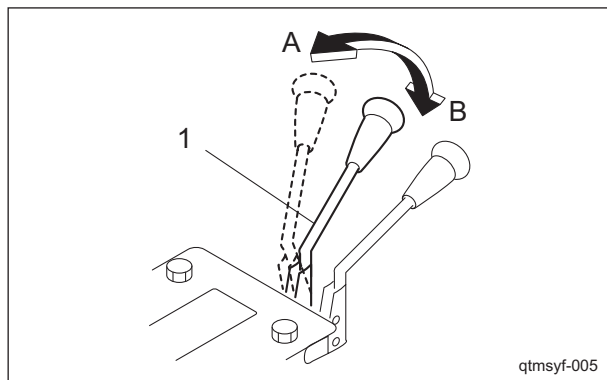
バケット開閉レバー

▲注意

ロータリーナイフおよび、ブロア回転中は、絶対にバケットフタを開けないでください。
飛散物により、ケガをする恐れがあります。

重要

バケットが下降しているときは、バケットフタを開閉しないでください。
バケットフタが地面に当たり、破損する場合があります。

バケット開閉レバーは、運転席の左側にあります。バケット開閉レバーを「開く」側に倒すとバケットフタが開き、「閉じる」側に倒すとバケットフタが閉じます。

バケット開閉レバー_001

1	バケット開閉レバー
A	開く
B	閉じる

作業

集草操作

⚠ 注意

集草した芝草がバケットの窓の赤いラインを超えた場合は、速やかに作業を中止し、排出を行ってください。

重要

芝草が湿った状態での作業は、ブロア・ダクトホースが詰まる原因になります。
集草作業は、できるだけ芝草が乾いているときに行ってください。

重要

長い芝草を一度に刈込みし、集草作業をするとブロア・ダクトホースが詰まる原因になります。
一番高い刈高で作業し、再度希望の刈高で作業する等、状況に合わせた作業を行ってください。

1. バケットが下限まで下降していることを確認してください。
2. バケットフタが閉まっていることを確認してください。
3. ブロアの回転は、ロータリーナイフの回転に連動しています。
   - ナイフ回転レバーを「ON」側にすると、ブロアが回転します。
   - ナイフ回転レバーを「OFF」側にすると、ブロアの回転が停止します。

集草操作は、本体取扱説明書「刈込操作」を参照してください。

排出操作

⚠ 警告

軟弱地、不整地や傾斜地では、絶対にバケットを上昇させないでください。
車体のバランスが崩れ、大変危険です。

⚠ 警告

バケットを上昇させるときは、前後輪が直進状態になるように停車してください。
車体のバランスが崩れ、大変危険です。

⚠ 警告

走行中は、絶対にバケットを上昇させないでください。
車体のバランスが崩れ、大変危険です。

⚠ 警告

周囲に人がいるとき、障害物があるときは、絶対にバケットを上昇させないでください。
ケガをする恐れがあります。

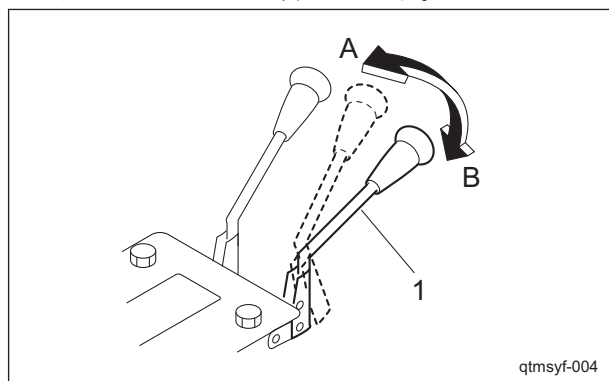
⚠ 注意

ロータリーナイフおよび、ブロア回転中は、絶対にバケットフタを開けないでください。
飛散物により、ケガをする恐れがあります。

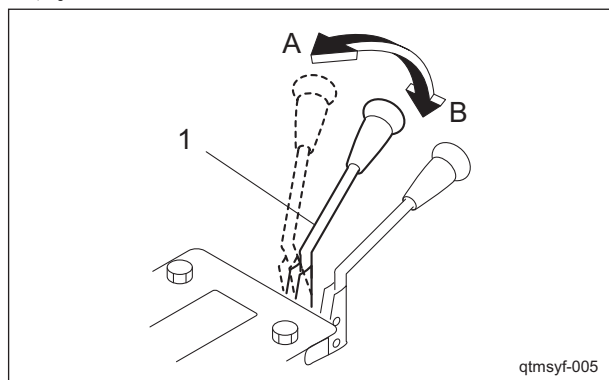
重要

バケットが下降しているときは、バケットフタを開閉しないでください。
バケットフタが地面に当たり、破損する場合があります。

1. 車体を直進状態で停車させ、駐車ブレーキをかけます。

2. バケット上下レバーを「上昇」側に倒し、バケットを上限まで上昇させます。

排出操作_001

1	バケット上下レバー
A	上昇
B	下降

3. バケット開閉レバーを「開く」側に倒し、バケットフタを開き、集草した芝草を排出します。

排出操作_002

1	バケット開閉レバー
A	開く
B	閉じる

4. バケット開閉レバーを「閉じる」側に倒し、バケットフタを閉めます。
5. バケット上下レバーを「下降」側に倒し、バケットを下限まで下降させます。

メンテナンス

メンテナンス

メンテナンス上の注意

⚠ 注意

実施するメンテナンスを熟知してから行ってください。

⚠ 注意

メンテナンスをする際に必要な工具は、目的にあったものを使用してください。

⚠ 注意

常に安全に、最高の性能でお使い頂くために、交換部品やアクセサリは BARONESS 純正部品をお求めください。
純正部品以外の部品をご使用になった場合、製品保証を受けられなくなる場合がありますので、ご注意ください。

メンテナンススケジュール

メンテナンススケジュールは、以下の通りです。
○・・・点検、調整、補給、清掃
●・・・交換(初回)
△・・・交換

メンテナンス項目		作業前	作業後	8h 毎	50h 毎	100h 毎	200h 毎	250h 毎	400h 毎	500h 毎	1 年毎	2 年毎	4 年毎	備考
エンジン	各部の締付	○												
	燃料	○												
	エアクリーナ	○					△							
	エンジンオイル	○		●	△									8h (初回)
	エンジンオイルフィルタ	○			●	△								50h (初回)
	点火プラグ				○	△								
	ラジエータ	○												
	オイルクーラ	○												
	冷却水	○			△									
	ファンベルト	○									△			
	バッテリ	○										△		
	バッテリ液	○												
	外観清掃	○												
本体	各部の締付	○												
	インターロックシステム	○												
	エマージェンシースイッチ	○												
	電気配線										○			

メンテナンス項目		作業前	作業後	8h 毎	50h 毎	100h 毎	200h 毎	250h 毎	400h 毎	500h 毎	1 年毎	2 年毎	4 年毎	備考
本体	ナイフ	○												
	ステアリングチェン	○												
	刈込（ブラシ）高さ	○												
	グリースアップ・注油				○									
	タイヤ	○												
	ゴムクローラ	○												
	V ベルト	○									△			
	ブレーキ	○												
	ワイヤ	○					△							
	カバー	○												
	油漏れ	○												
	油圧作動油	○				●				△				100h (初回)
	油圧オイルフィルタ					●				△				100h (初回)
	油圧モータオイル				●		△							50h (初回)
	パワーユニットオイル	○				●				△				100h (初回)
	ミッションオイル	○			●						△			50h (初回)
	油圧ホース（可動部）	○										△		
	油圧ホース（固定部）	○											△	
	エアクリーナ	○					△							
	電磁ポンプフィルタ	○					△							
	燃料ストレーナ					○					△			
	燃料パイプ	○												
	外観清掃	○												

消耗品については、保証値ではありません。
ステアリングシリンダ用ホースは、2 年毎に交換してください。

規定値

テンションスプリング（駆動ベルト）	スプリングのコイル長 62.0 mm	コイル長を 5.0 mm 伸ばす

主な消耗部品

部品名	コード番号
V ベルト LA87AG-6A（駆動）	K2325087000

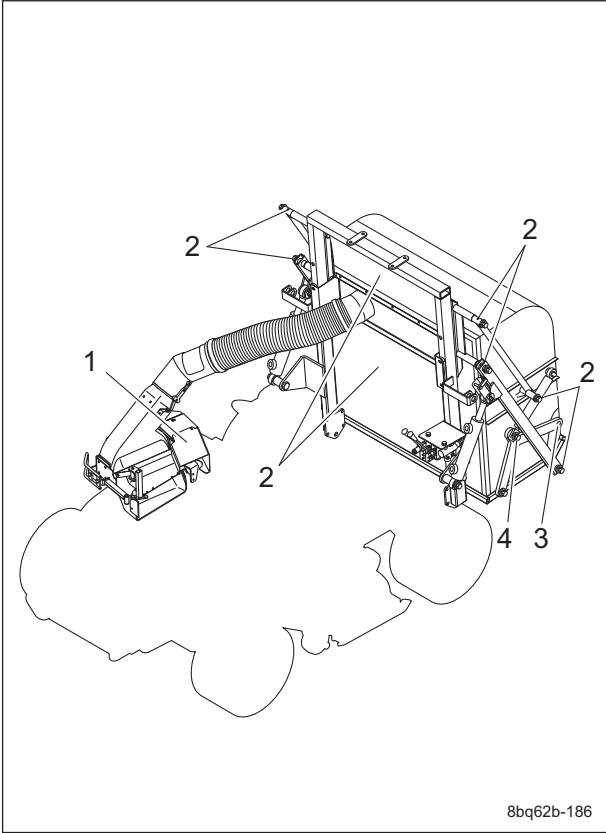
メンテナンス

グリースアップ

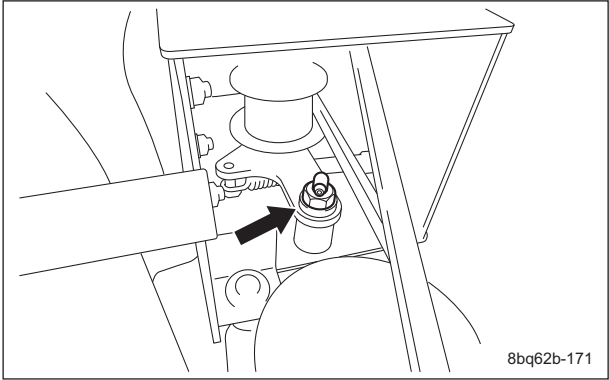
グリースアップについて

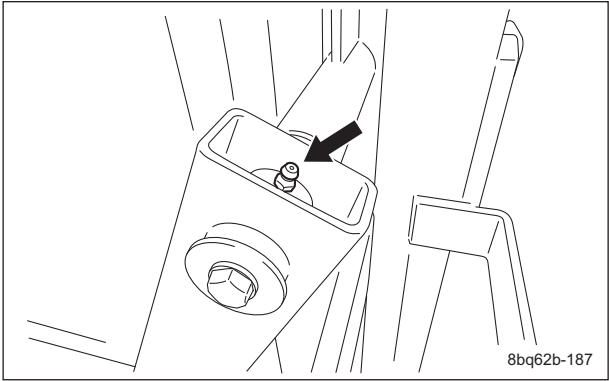
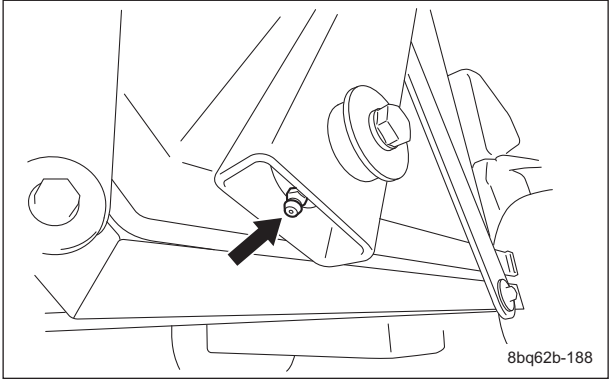
可動部がグリース切れにより、固着したり、破損したりする可能性がありますので、グリースアップの必要性があります。
メンテナンススケジュールに従って、ウレア系 2 号グリースでグリースアップしてください。

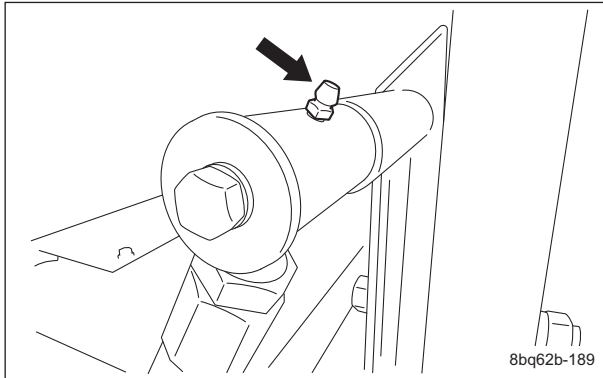
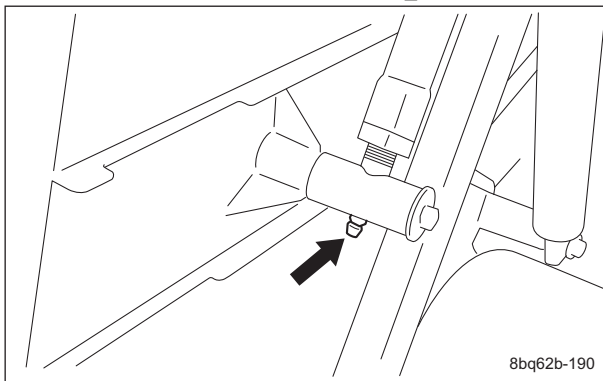
グリースアップ位置

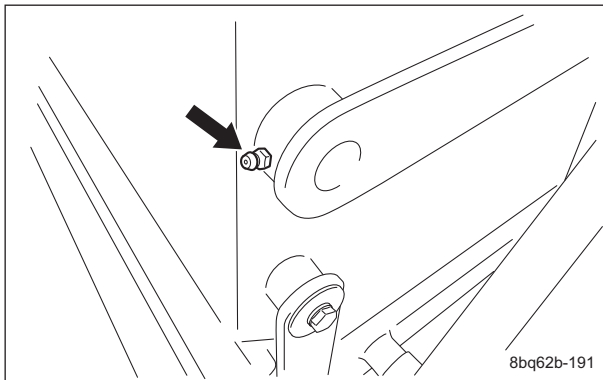
次の場所にグリースニップルが取付けてあります。
50 時間毎にグリースアップしてください。

グリースアップ位置_001

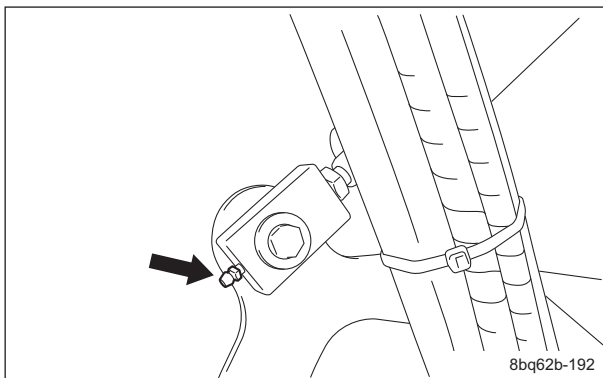
	部位	注油箇所数
1	テンションレバー支点部	1
2	バケット上下アーム支点部	8
3	バケット開閉アーム支点部	2
4	バケットシリンダ支点部	1

1. テンションレバー支点部

グリースアップ位置_002

2. バケット上下アーム支点部
   - バケット継ぎパイプ
     左右に 2 箇所ずつあります。

グリースアップ位置_003

グリースアップ位置_004

・ バケット調節パイプ
左右に 2 箇所ずつあります。

グリースアップ位置_005

グリースアップ位置_006

3. バケット開閉アーム支点部
左右に 1 箇所ずつあります。

グリースアップ位置_007

4. バケットシリンダ支点部

グリースアップ位置_008

メンテナンス・作業部

バケットの清掃

重要

バケットのネットが目詰まりすると、集草性能が低下します。

作業後は、バケットの清掃を行ってください。
また、バケットは定期的に洗浄してください。
特に湿った芝草を集草した場合は、必ず洗浄してください。

1. エンジンを始動してください。
2. バケットを上昇させてください。
3. バケットフタを開けてください。
4. エンジンを停止し、キーを抜取ってください。
5. シリンダロックを装着してください。
6. バケットの内側及び、ネットを水または圧縮空気で丁寧に清掃してください。

ダクトホース・ブロアの清掃

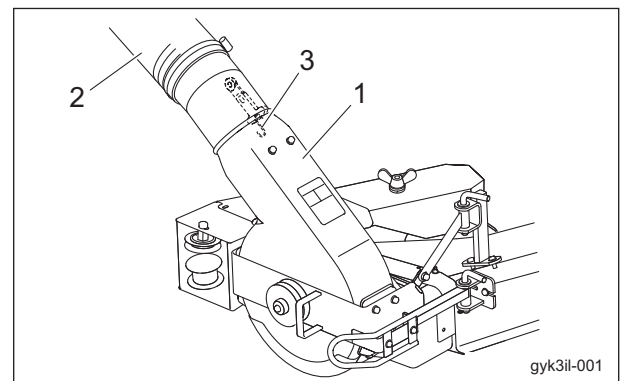
⚠ 危険

ロータリーナイフおよび、ブロアが回転中は絶対にダクトホースを取外さないでください。
飛散物により、ケガをする恐れがあります。

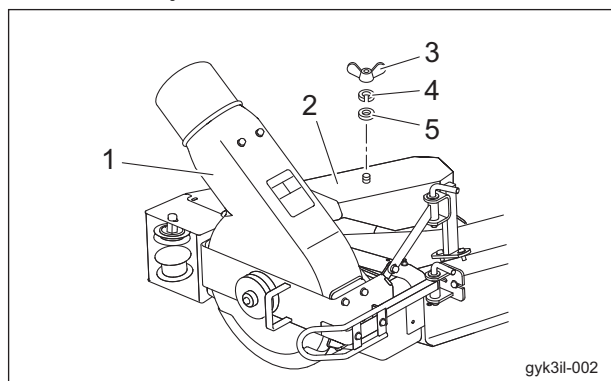
重要

ブロアを取付ける際は、ベルトがプーリ溝に正しく入っているか確認してください。

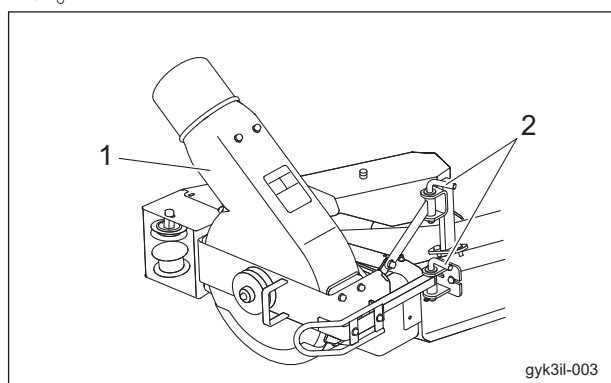
作業後または、ダクトホースが詰まった場合は、ダクトホース・ブロアの清掃を行ってください。

1. エンジンを停止し、キーを抜取ってください。
2. フックを外し、ダクトホースを抜取ってください。

ダクトホース・ブロアの清掃_001

1	ブロア
2	ダクトホース
3	フック

3. ちょうナットを取外し、ベルトカバーを取外してください。

ダクトホース・ブロアの清掃_002

1	ブロア
2	ベルトカバー
3	ちょうナット
4	S ワッシャ
5	ワッシャ

4. ピンを抜き、ブロアを外側に引出してください。

ダクトホース・ブロアの清掃_003

1	ブロア
2	ピン

5. ダクトホース、ブロアに堆積した芝草を取出し、清掃してください。

ベルトの張り調整

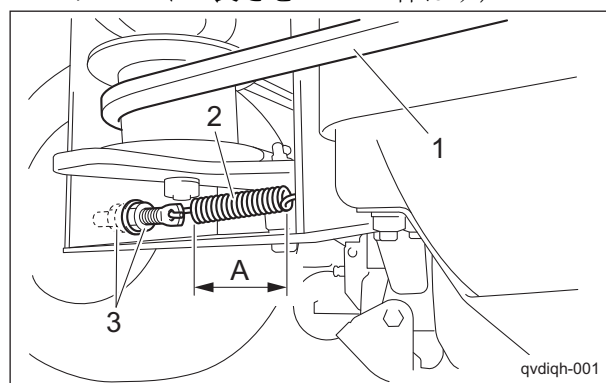
> ⚠ 注意
>
> ベルトの調整を行う際は、必ずエンジンを停止させて行ってください。

> 重要
>
> ベルトの張りは、規定値を確認してください。

使用頻度により、ベルトが緩いと踊ったり、スリップする可能性があります。
また､張り過ぎると損傷が早くなる可能性があります。
必要に応じて調整し､いつも適切な張り具合に保ってください。

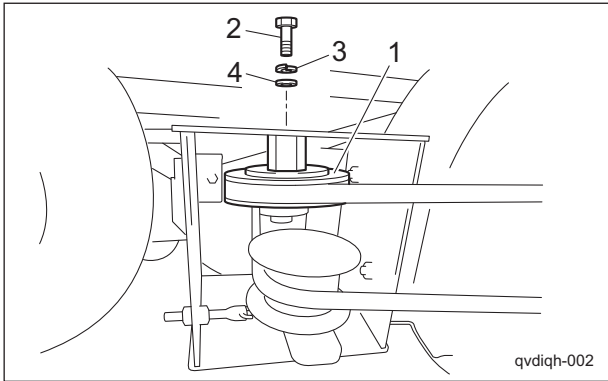
駆動ベルト

> ⚠ 注意
>
> ベルトの調整を行う際は、必ずエンジンを停止させて行ってください。

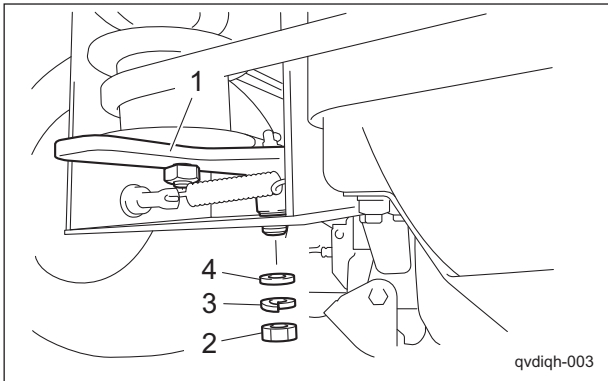
1. ベルトの中央部を指で押さえて、張り具合を確認してください。
2. ベルトがたわみすぎている場合は、ロックナットで調整します。
   テンションスプリングのコイル長さが 62.0 mm になるように調整してください。(スプリングのコイル長さを 5.0 mm 伸ばす)

駆動ベルト_001

1	ベルト
2	テンションスプリング
3	ロックナット
A	62.0 mm

3. ロックナットで調整できない場合は、以下の要領で調整します。

〔1〕プーリの位置をボルトで調整します。

駆動ベルト_002

1	プーリ
2	ボルト
3	S ワッシャ
4	ワッシャ

〔2〕テンションプーリレバーの支点の段付ボルトの位置をナットで調整します。

駆動ベルト_003

1	テンションレバー
2	ナット
3	S ワッシャ
4	ワッシャ

長期保管

長期保管について

- 泥や草屑、油汚れ等をきれいに落としてください。
- 各注油箇所にグリース注入、塗布と、注油をしてください。